

# 週間漁海況情報 2023年第32号

令和5年8月8日発行

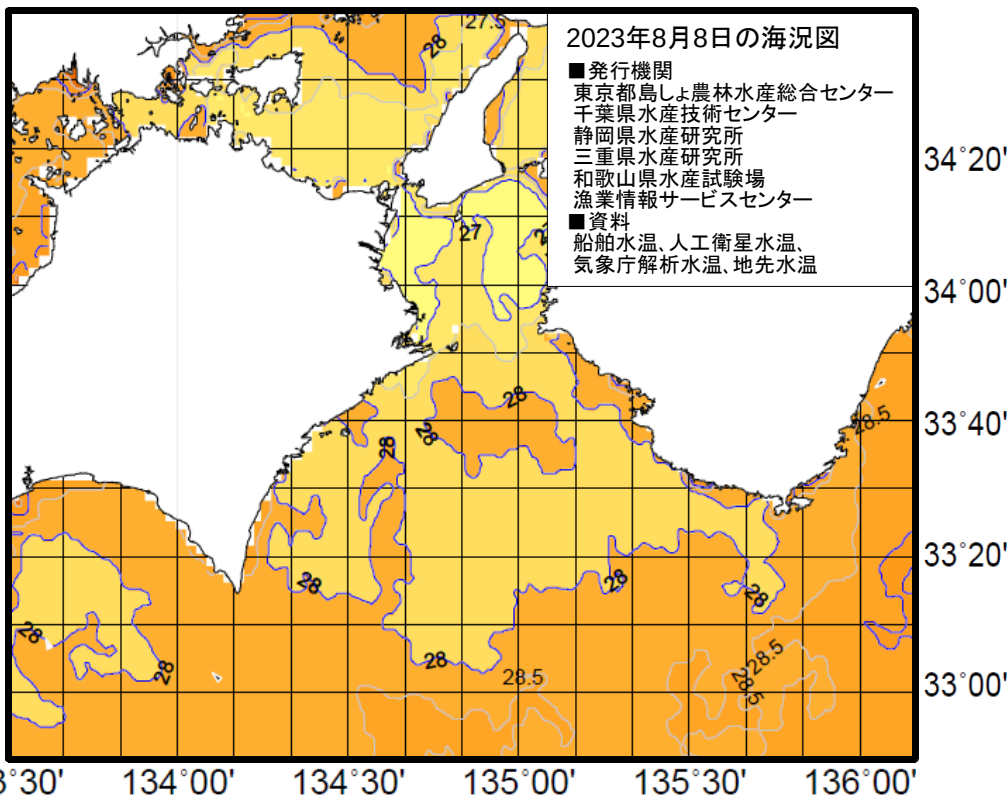
徳島県立農林水産総合技術支援センター  
水産研究課海洋生産技術担当

## 海況

### 1. 周辺海域の水温等

紀伊水道沖の黒潮は、室戸岬沖55マイル付近、潮岬沖133マイル付近を流れ、室戸で「離岸」、潮岬で「著しく離岸」している。

黒潮の表面水温は28～29℃台。徳島周辺海域の表面水温は、播磨灘は27℃、紀伊水道は26～27℃台、海部沿岸は27～28℃台となっている。台風6号の影響で、先週と比べて水温は若干低下した。

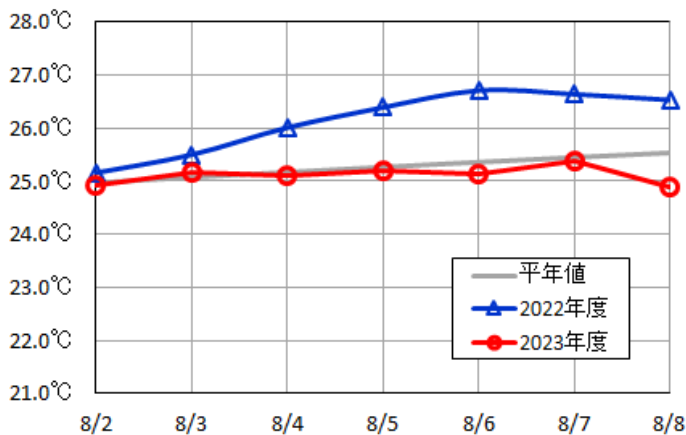


※黒潮の離接岸の表現 (いずれも正南方向)  
 室戸岬沖 接岸：～25NM やや離岸：25～45NM 離岸：45～65NM 著しく離岸：65NM～  
 潮岬沖 接岸：～26NM やや離岸：26～56NM 離岸：56～86NM 著しく離岸：86NM～  
 ※図中の破線は黒潮の北縁を示しています(このところ、著しい離岸が続いているため、表示範囲より南の場合が多い)。  
 直近4日分の海況図を水産研究課HPに掲載しています。

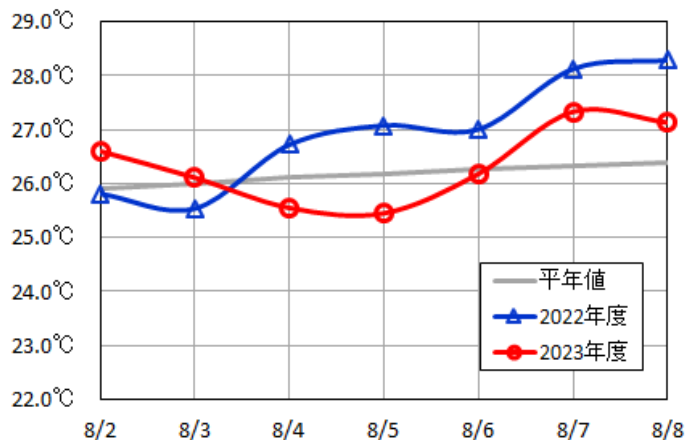
### 2. 地先水温(8月2日～8月8日)

鳴門地区の水温は、24.8～25.3℃で「平年並み」から「やや低め」、浅川地区は、25.4～27.3℃で「平年並み」から「やや高め」で推移。鳴門と浅川地区の水温差は0.2～2.2℃で、先週と比べて広がった。

#### 鳴門地区



#### 浅川地区



※水温の高低 平年並み：平年値±0.5℃未満，やや高め/やや低め：平年値±0.5℃以上1.5℃未満  
高め/低め：平年値±1.5℃以上2.5℃未満，かなり高め/かなり低め：±2.5℃以上

※平年値 1984年～2022年(鳴門)、2018年～2022年(鳴門)の平滑平均値(いずれも日平均水温を使用)

### 3. 週間予報(8月9日～8月15日)

黒潮は、室戸岬沖は「離岸」、潮岬沖は「著しく離岸」で推移する見込み。

地先水温は、鳴門地区は「やや低め」、浅川地区は「平年並み」で推移する見込み。

**漁況** (7月31日～8月6日)

**1. 紀伊水道 (標本漁協：5)**

船びき網では、シラスが増えて30ト水揚げされた。

延縄では、ハモが中主体に9.7ト、あまだい類が0.2ト水揚げされた。

小型定置網では、イサキが大きく増えて大主体に1ト、マアジが豆あじ主体に0.8ト、カワハギが増えて大主体に0.2ト、ブリがめじろ級主体に0.2ト、マダイが増えて0.2ト水揚げされた。

底びき網では、ハモが増えて中主体に9ト、えそ類が大きく減って0.2ト水揚げされた。

**2. 海部沿岸 (標本漁協：4)**

釣りでは、カツオが大きく増えて0.6ト水揚げされた。

延縄では、ハモが1.4ト水揚げされた。

小型定置網では、マアジが大きく増えて豆あじ主体に0.2ト水揚げされた。

**漁獲量集計表 (漁獲量が0.15 トン以上のものを抜粋)**

海区	漁業種類	出漁隻数 (のべ)	魚種	漁獲量	1日1隻あたり(kg)	銘柄	前週比※
紀伊水道	船びき網	74	シラス	29,970	405		↗
	延縄	73	ハモ	9,731	133	中主体	→
		41	あまだい類	200	5		→
	小型定置網	18	イサキ	1,042	58	大主体	↗↗
		19	マアジ	838	44	豆あじ主体	→
		22	カワハギ	231	10	大主体	↗
		12	ブリ	193	16	めじろ級主体	→
		21	マダイ	154	7		↗
	底びき網	45	ハモ	9,010	200	中主体	↗
		36	えそ類	198	6		↘↘
海部沿岸	釣り	3	カツオ	635	212		↗↗
	延縄	6	ハモ	1,358	226		→
	小型定置網	10	マアジ	185	19	豆あじ主体	↗↗

※ 前週比 200%以上:↗↗ 120-200%:↗ 80-120%:→ 50-80%:↘ 50%未満:↘↘